



中央小ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和3年7月16日
大村市立中央小学校
発行 石司 貴弘



みんなで 子どもを守る

～下校見守りく7月13日～

中央小学校区健全育成協議会（広島会長）の主催で、1・2年生の下校見守り活動を行いました。各町内会の会長様、協議会の委員の皆様にご協力いただき、炎天下、汗びっしょりで歩いていただきました。

以下は、子どもたちの感想です

今日は、地域のおじちゃん、おばちゃんと一緒に帰りました。「ここでは、車ばよう見みらんばよ」って教えてもらいました。一人で歩く時にも、教えてもらったことを守ろうと思います。

今日は、たくさんの方が一緒に帰りました。なんでかな？と思いました。先生から、「みんなが安全に歩けるように見守ってくれてるんだよ」と、教えてもらいました。うれしいな、と思いました。

ニュースで、学校帰りの交通事故で亡くなった人がいると聞きました。学校のまわりの道も車がたくさん通るので、気をつけようと思います。

交通事故は、ふだんからよく利用し、慣れている道で起こることが多いそうです。慣れからくる「大丈夫さ」という気の緩みが原因だと言われます。

- ・ここはよく知っている道だから、平気平気。
- ・少しぐらいルールを破っても、今まで事故にあったことはないし…。

こんな気持ちになってしまうことがとても危険だと思うのです。

今回の下校見守りを通して、子どもたちに「交通ルールを守ること」「自分自身で安全に気をつけること」の大切さをあらためて教えることができました。これからも繰り返し子どもたちに伝えていこうと思います。

真夏の暑さの中、さわやかな笑顔で子どもと接してくださった皆様に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和3年
夏の交通安全週間
実施期間 7月14日(水)～7月20日(火)

重点
● 歩行者を優先する運転の徹底
● 横断歩道を渡るなど自身の安全を守る歩行の確保
● 迷惑運転及び飲酒運転の根絶

交通安全画冊制作委員会 制作
大村市立中央小学校(2階) 発行
2021.7.13
御厨 彩美さんの作品
街の音を 聴きましょう

なんとさわやか なんと美しい 西中校区のみなさん！



3枚の写真をよくご覧ください。元学校評議員の有川様をはじめ、子どもを見守ってくださる地域の方が、率先してあいさつをしてくださっています。

2枚目は、6年生の子どもが下級生を迎える様子です。「おはようございます。今日もがんばろうね。」お互いを大切にする心の温かさまで感じられます。

そして、3枚目は中央小北門であいさつ運動に取り組む西大村中学校の生徒さんです。中学生のみなさんは、歩道を通る一般の方にもさわやかな笑顔であいさつをしています。見ていて、本当に気持ちよく、一日の活力が湧いてくるように感じるのです。



これらのみなさんは、人から「あいさつ運動に取り組んでください」と頼まれたわけではありません。「自分からすすんで…」なのです。こんな姿は本当に美しく、我らが西大村中学校区の“宝”だと思えるのです。まわりの人をこんなにさわやかな気持ちにするこの取組を、どんどん広げていきたいと思えます。そのためには、私たち大人が“さわやかに 笑顔で”子どもたちに語りかけることが近道だと思えるのです。

私たち大人が、あいさつの手本を見せてまいりましょう。真っ先に石司が実行しますので、よろしくお願ひします。



スクールカウンセラー **長谷川優美**先生から
子どもたちへのメッセージ



「ため息」というのは、心身の緊張や疲れをとるための「身体の知恵」です。

意図的にため息をつく、大げさに息を吐くというのは、いつでもどんな状態でもできる最強のセルフケアかも知れません。

ぜひ、“力のぬけた感覚”を味わってみてください。